

第1回 横浜市戸塚区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和7年12月18日（木） 午後1時30分から3時00分まで
開 催 場 所	戸塚区役所9階特別会議室
出 席 者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 西尾 敦史（愛知東邦大学 人間健康学部 人間健康学科 教授）</p> <p>委員 曾根 よしみ（元戸塚区民生委員児童委員協議会 副会長）</p> <p>中瀬 明德（東戸塚地域活動ホームひかり 施設長）</p> <p>本庄 里実（東京地方税理士会戸塚支部 会員）</p> <p>依田 浩美（とつか区民活動センター センター長）</p> <p>【事務局】</p> <p>戸塚区福祉保健センター長 緑川 斉</p> <p>戸塚区福祉保健課長 尾崎 太郎</p> <p>戸塚区福祉保健課事業企画担当係長 平野 亜由子</p> <p>戸塚区福祉保健課事業企画担当 平野 明日香、堀内 立夏</p>
欠 席 者	あり（福本 雅美（戸塚区地域子育て支援拠点とつとの芽 施設長））
開 催 形 態	一部非公開（指定管理者選定スケジュール、公募要項・応募関係書類等、評価基準及び審査方法について非公開）（傍聴者なし）
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 選定委員会の位置づけ及び審議内容について 2 委員長及び職務代理者選任について 3 地域ケアプラザの概要について 4 委員会の公開・非公開について 5 公募要項・応募関係書類の内容、選定スケジュールについて 6 評価基準及び審査方法について
決 定 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員長に西尾委員を選出、委員長職務代理者に中瀬委員を指名。 2 第1回及び第2回選定委員会審議事項のうち、次に関する部分を非公開とすることを決定。 第1回 指定管理者選定スケジュール、公募要項・応募関係書類、評価基準及び審査方法等 第2回 応募団体の面接審査（当該施設の他の応募団体を除き公開）、指定管理者の候補者（以下「指定候補者」という。）及び次点候補者の選定、講評 3 指定管理者選定スケジュールについて、再公募となった場合も含めて、事務局案のとおり決定。 4 公募要項等について、各委員からの意見を基に追加したうえで、事務局案のとおり決定。 5 財務状況の評価については、健康福祉局による外部評価の結果を参考にし、財

	<p>務に関する有識者が評価したものを選定委員会としての評価とすることで決定。その他、評価基準、採点方法及び審査方法等について、事務局案のとおり決定。なお、事前審査にあたっては、期間の余裕に配慮し、各委員において書類審査を行うことを決定した。</p>
議 事	<p><u>1 指定管理者選定委員会の位置づけ及び審議内容について</u> 事務局から選定委員会の設置根拠、審議事項、議事録の公表について説明。</p> <p><u>2 委員長選出及び委員長職務代理者選任について</u> 横浜市戸塚区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱第6条に基づき、委員長に西尾委員を選出。 同要綱第6条に基づき、委員長が職務代理者に中瀬委員を指名。</p> <p><u>3 地域ケアプラザの概要について</u> (事務局) ・地域ケアプラザの機能及び実施事業について説明。</p> <p><u>4 委員会の公開・非公開について</u> (事務局) 公開することにより適正な審査が阻害される恐れがあることから、次の審議事項は非公開とする事務局案について説明。 【第1回選定委員会】 ・指定管理者選定スケジュールについて ・公募要項・応募関係書類の内容について ・評価基準及び審査方法について 【第2回選定委員会】 ・応募団体の面接審査 ・指定候補者及び次点候補者の選定、講評 ※なお、応募団体の面接審査（プレゼンテーション及びヒアリング）は、当該施設の他の応募団体を除き公開。 (委員) 応募団体の面接審査については、他の応募団体への情報漏洩を防ぐ方策を確保するという条件を付して、公開するということか。 (事務局) そのとおり。 (委員) 会議の公開のアナウンスはどのようにされるのか。 (事務局)</p>

会議の開催については、区のホームページや掲示板で事前に案内する。開催案内と合わせて、傍聴人の募集も行う。

(委員)

今回の募集に複数団体の申込みがあった場合、関係者が傍聴することは可能なのか。

(事務局)

応募団体の面接審査については、他の応募団体への情報が漏れないことを確保したうえでの公開を事務局案としている。具体的には、傍聴申込の段階で申込者情報を事前に確認することを考えている。

(事務局)

申込みの段階で個別に申込者情報を確認するということか。

(事務局)

そのとおり。

なお、議事録も公開となるが、個人情報保護の観点から発言者の名前は非公開とする予定。

(委員長)

この他、特に意見がなければ、事務局案のとおりでよろしいか。

(委員)

異議なし。

5 公募要項・応募関係書類の内容、選定スケジュールについて

(委員長)

先ほどの議事の審議結果を受け、これ以降の議事については非公開とする。

(事務局)

資料のとおり、公募要項その他関係書類案の記載内容、選定スケジュールについて事務局案を説明。なお、応募がなければ再公募を行い、再公募の場合のスケジュールで実施することを説明。

(委員)

今回新規の自主事業A型・B型については、指定管理者制度における実務手引きを参照とあるが、どこかに説明はあるか。また、自主事業A型・B型とは何か。

(事務局)

公募要項をホームページ上で公表する際に、実務手引きを合わせて掲載する。

自主事業A型・B型とは、通常の指定管理業務のなかで行う自主企画事業と異なり、指定管理業務の範囲外で行うものとして取り扱われ、施設の設置目的に沿ったものがA型、施設の設置目的とは異にするものをB型としている。すなわち、自主事業A型・B型は、指定管理業務外で行うものであるため、法人の責任と費用で行うものであり、指定管理料の予算は使えないということになる。制度改定されたばかりであるため、現時点では実例がなく何がA型かB型かという具

	<p>体的なものがないが、あくまで提案型になるので、応募法人から提案があった場合に加点できる要素があれば評価していくことになる。</p> <p>(委員)</p> <p>費用は法人負担なのか。</p> <p>(委員長)</p> <p>そのとおり。そして、その事業で出た収益は法人のものとなる。</p> <p>(委員)</p> <p>収益が出る事業を実施してもいいという意味か。</p> <p>(事務局)</p> <p>そのとおり。これまで指定管理者の業務のなかに、部屋の貸出があったが、指定管理業務の一環であったため収益は横浜市の収入となっていた。だが、今回の自主事業については、費用も収益も法人のものとなる。</p> <p>(委員)</p> <p>今回からこのような制度ができたのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>そのとおり。9月に制度改正がされたことに伴い、ケアプラザに限らず市内の全ての指定管理施設に関わるもの。</p> <p>(委員)</p> <p>より良い運営のためにということか。</p> <p>(事務局)</p> <p>そのとおり。法人の自由な発想で、施設の魅力を高めて、市民サービスの向上を図るもの。</p> <p>(委員)</p> <p>職員配置はどうなるのか。ケアプラザ専従の人はこの自主事業に関われるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>専従職員が関わることはできるが、あくまで勤務時間外にやることとなる。</p> <p>(委員)</p> <p>実際は難しそうな印象である。</p> <p>(事務局)</p> <p>職員が直接的にその時間に関わらない自主事業も可能。例えば場所貸しなど、施設を十分に活用した事業展開を提案することもできる。</p> <p>(委員)</p> <p>ケアプラザの専従職員ではない法人の職員が自主事業に関わることはできるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>可能。</p> <p>(委員)</p>
--	---

	<p>指定管理業務外で実施する場合、事前に横浜市に協議が必要なのか。また、事例はあるか。</p> <p>(事務局)</p> <p>横浜市への協議は必要。事例はまだない。</p> <p>(委員)</p> <p>関係法令について、昨年度の選定委員会では、障害者虐待の防止に関する法令の追加の意見があったと記憶している。</p> <p>(事務局)</p> <p>承知しており、今回の公募要項案も意見を反映したものとしている。</p> <p>(委員)</p> <p>労働関係法令のなかで、障害者雇用促進法も完全な義務ではないが、行政も民間事業主も障害者雇用率が定められている法令であり、加味する必要はないのかなど。また、児童福祉法や老人福祉法があるなかで、元の社会福祉法がない。社会福祉法は規制する法律ではないが、利用者の権利擁護や第三者評価が定められている法律なので、あっても良いように感じた。ただ、いずれも加えてほしいということではなく、事務局で確認をしてほしい。</p> <p>(事務局)</p> <p>公募要項については、全市統一のものではなく、本委員会で決定できる。</p> <p>(委員長)</p> <p>みなさん、加えることについていかがか。</p> <p>(委員)</p> <p>どこに加えることになるか。</p> <p>(委員)</p> <p>障害者雇用促進法は、(リ)労働関係法令のカッコの中に加えるイメージ。社会福祉法は規制するものではないが、地域福祉を進めるうえで基本的な法令。逆に加えることで支障があるかという支障があるような法令ではない。</p> <p>(事務局)</p> <p>障害者雇用促進法は障害者雇用率を定めているものであるため、ここに加えることで指定管理業務を実施するケアプラザとして遵守するものとなるかどうかを、一旦事務局で確認する。</p> <p>(委員)</p> <p>障害者雇用促進法は、法定雇用率を定めていることと合わせて、未達成の場合は納付金を納めること、達成している場合は調整金が支給されるということが書かれている。</p> <p>(委員長)</p> <p>では、事務局で確認の後、メール等で各委員へ確認、最終的には委員長での確定で良いか。確認後、判断が難しいようであれば今回は公募要項には入れなくても良しとする。(※)</p>
--	--

	<p>(委員) 異議なし。</p> <p>(委員長) その他、選定スケジュール、公募要項・応募関係書類については、事務局案でよろしいか。</p> <p>(委員) 異議なし。</p> <p>(※) 事務局確認後、各委員へメールで確認を行い、最終的に委員長一任事項として、社会福祉法は関係法令に追加掲載、障害者雇用促進法については、指定管理業務を行うケアプラザ単体が遵守するものと誤解を与える可能性もあることから掲載見送りとすることで、委員会として決定。</p> <p>6 評価基準及び審査方法について</p> <p>(事務局) 次のとおり事務局案を説明</p> <p>○評価基準項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 12 に記載のとおり。 <p>○評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応募団体から提出された応募書類及び面接審査等を受けて、評価項目 1 ～ 6 の評価は 5 段階で評価を行い、各項目の評価結果にそれぞれ係数を乗じて、項目の評価点を算出する。 ・ 評価項目 7 は 4 段階で採点を行い、係数を乗じて項目の評点を算出する。 ・ 評価項目 8 (1) は「0 点」又は「6 点」の 2 段階評価とし、(2) はアからウまでそれぞれ「0 点」又は「3 点」の 2 段階評価とする。 ・ 評価項目 9 (1) は -10 ～ 10 点の任意の点数で採点を行い、(2) は「0 点」又は「- 5 点」の 2 段階評価とする。 ・ 財務状況の評価は、①健康福祉局による外部評価の結果を参考にし、財務に関する有識者が評価したものを選定委員会としての評価とする。②選定委員のうち財務に関する有識者が、健康福祉局による外部評価の結果を参考にして評価を行い、その評価結果及びその評価を付けた理由を選定委員会でご説明いただき、各選定委員がそれを踏まえ評価をする。①あるいは②のいずれの評価方法をとるかは、ご審議いただきたい。 <p>○採点方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議時、一度仮採点した後に、各委員の仮採点及びその理由等の相互確認による協議を行い、その結果を踏まえて本採点する。
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・面接審査のタイムスケジュールについては、1 団体 45 分程度（応募団体によるプレゼンテーション 15 分、委員による質疑応答 20 分、財務状況等の説明 5 分、採点記入 5 分）とする。 <p>○最低制限基準の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募団体が 1 団体のみの場合でも、地域ケアプラザの運営の質を確保するため、最低制限基準を満たすことを必要とする。なお、第 2 回選定委員会の出席委員数に応じて次のとおり取り扱うこととする。 <p>【第 2 回選定委員会の出席委員数が 6 人（全員出席）の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最低制限基準は、評価項目 7 ～ 9 を除く評価基準項目の合計点（満点 290 点）に、第 2 回選定委員会出席委員数から 2 人除いた委員数を乗じて算出した点数の 60%とする。 ・なお、最低制限基準を満たしているかどうかは、第 2 回選定委員会出席委員のうち、評価項目 7 ～ 9 を含めて最高点をつけた委員及び最低点をつけた委員を除いた委員の、評価項目 7 ～ 9 を除いた採点を合計した点数で比較することとする。 ・また、最高点をつけた委員が 2 人以上いる場合又は最低点をつけた委員が 2 人以上いる場合は、委員長によるくじ引きで、それぞれ 1 人分の配点のみを最低制限基準から除くこととする。 <p>【第 2 回選定委員会の出席委員数が 4 ～ 5 人の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最低制限基準は、評価項目 7 ～ 9 を除く評価基準項目の合計点（満点 290 点）に、第 2 回選定委員会出席委員数を乗じて算出した点数の 60%とする。 <p>○得点について</p> <p>【第 2 回選定委員会の出席委員数が 6 人（全員出席）の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員が評価基準項目に基づいて採点し、第 2 回選定委員会において最高点をつけた委員及び最低点をつけた委員を除く残りの 4 人の委員の採点を合計した点数とする。 ・なお、最高点をつけた委員が 2 人以上いる場合又は最低点をつけた委員が 2 人以上いる場合は、委員長によるくじ引きで、それぞれ 1 人分の採点のみを合計点から除くこととする。 <p>【第 2 回選定委員会の出席委員数が 4 ～ 5 人の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員が評価基準項目に基づいて採点し、各委員の採点を合計した点数とする。 <p>○指定候補者等の決定</p> <p>選定委員会での得点が最も高い、かつ最低制限基準を満たした団体を「指</p>
--	---

	<p>定候補者」とし、次に得点が高い、かつ最低制限基準を満たした団体を「次点候補者」とする。なお、施設に応募した全ての団体が最低制限基準に満たなかった場合は再公募を行う。</p> <p>同点 1 位の団体が複数発生した場合の取扱いについて、次の順で指定候補者を選定する。</p> <p>① 委員長を含む全員で再度同点者の採点を行う</p> <p>② それでもなお同点の場合は、委員長による判断で選定する</p> <p>(委員)</p> <p>全員が出席した場合と欠席者が出た場合とで手法を分けている理由は何か。</p> <p>(事務局)</p> <p>地域ケアプラザの選定における横浜市の共通ルール。極端に点数が振れている場合を避けるため、一定の委員数を超えた場合には、上下一人ずつを除き、一定数以下の場合を除くことはせずに評価をつけていく。</p> <p>(委員)</p> <p>評価シートにコメントは記載できるか。</p> <p>(事務局)</p> <p>事前に仮採点表をつけていただくが、メモできる形式で準備する。プレゼン当日は、ご自身で事前につけた仮採点表を手元に置いて、事前に記入したご自身のコメントも参考にしながら質疑に役立てていただき、評価をしていただく。</p> <p>(委員)</p> <p>採点中に委員間で良い点や課題点を協議し、文書として指定候補者に示していたと思うが。</p> <p>(事務局)</p> <p>指定候補者には、委員からのコメントをつけて最終的には示していく。</p> <p>(委員)</p> <p>プレゼンの時間は決まっているのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>本委員会で決められる。昨年度の選定委員会では、質疑の時間が短いように感じたので、今回は質疑応答の時間を 10 分から 20 分に拡大した。</p> <p>(委員)</p> <p>確かに前回の 10 分は短く感じた。20 分については他の委員はどうか。</p> <p>(委員)</p> <p>プレゼンの時間 15 分は以前と変わらずか。</p> <p>(事務局)</p> <p>変わらない。</p> <p>(委員)</p> <p>質疑応答 20 分として、多少の増減はありか。</p>
--	--

	<p>(事務局)</p> <p>複数の応募があった場合に、公平に見れる基準の時間は必要であるので、それを前提でご審議いただきたい。</p> <p>(委員)</p> <p>採点記入時間は5分か。</p> <p>(事務局)</p> <p>5分だが、あらかじめ委員の皆様には仮採点をしていただく。採点記入時間の5分は、プレゼンを実際に聞いて仮採点した点数を修正するかどうかをこの時間でお考えいただきたい。プレゼン当日に、0から採点をお願いするものではない。</p> <p>(委員長)</p> <p>全体としては45分。質疑応答は前回から10分増やしたという事務局案でよろしいか。</p> <p>(委員)</p> <p>異議なし。</p> <p>(委員)</p> <p>評価の最高点は前回と同じか。</p> <p>(事務局)</p> <p>自主事業は新規項目で、前回より加点となっている項目。一方で、今回のケアプラザはデイサービスがない、かつ合築施設ではないので、削除している項目である。そのため、前回と総合点数が全く同じというわけではない。</p> <p>(委員)</p> <p>係数は変わらないか。</p> <p>(事務局)</p> <p>変わらない。</p> <p>(委員長)</p> <p>財務状況について。昨年度の選定委員会では「①健康福祉局による外部評価の結果を参考にし、財務に関する有識者が評価したものを選定委員会としての評価とする」としていたが、いかがか。</p> <p>(委員)</p> <p>同様の手法で異議なし。</p> <p>(委員長)</p> <p>では、「財務に関する有識者が評価したものを本委員会としての評価とする」ことを本会の決定事項とする。</p> <p>この他、評価基準・審査方法等については事務局案で良いか。</p> <p>(委員)</p> <p>異議なし。</p>
--	--

<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p><u>1 資料</u></p> <p>(1)【資料1】委員名簿</p> <p>(2)【資料2】横浜市地域ケアプラザ条例（抜粋）</p> <p>(3)【資料3】横浜市戸塚区地域ケアプラザの指定管理者の候補者の選定等に関する要綱</p> <p>(4)【資料4】横浜市戸塚区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会運営要綱</p> <p>(5)【資料5】戸塚区内地域ケアプラザ一覧</p> <p>(6)【資料6】会議の公開・非公開の考え</p> <p>(7)【資料7】公募及び選定スケジュール（案）</p> <p>(8)【資料8】横浜市深谷俣野地域ケアプラザ指定管理者公募要項</p> <p>(9)【資料9】横浜市深谷俣野地域ケアプラザ指定管理者応募書類作成及び提出方法</p> <p>(10)【資料10-1】提案書類（事業計画書）</p> <p>(11)【資料10-2】提案書類（指定管理料提案書等）</p> <p>(12)【資料11】評価基準項目等について</p> <p>(13)【資料12】評価シートについて</p> <p>(14)【参考】わたしたちの地域ケアプラザ（パンフレット）</p> <p><u>2 特記事項</u></p> <p>次回（応募団体の面接審査）は、令和8年3月25日（水）に開催。開催場所は、後日連絡する。</p>
------------------------------------	--